

目指す学校像 (ミッション)	◆人格完成を目指す文武教育。◆将来必要な「知力と体力と生きる力」の教育。◆社会で実践できる人材育成。◆個人の目標・目的を明確にした教育。
本年度の重点 目標	◎ 社会で通用する人材の育成。「高校からでも間に合う教育」の実践。 1. 「雲外蒼天」 困難を乗り越え、野力して克服すれば、快い青空が望める。 2. 志を立て、道徳性（五徳）を養い、社会性を持った生徒の育成。 3. 学校・保護者・地域が三位一体となった学校運営。

年 度 当 初				最 終 評 価 (3 月)			
番号	評価項目	現 状	具体的な方策	評 価 指 標	経過・達成状況等	達成 度	次年度の課題と改善策
1	授業改善の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 学力不足の生徒や教室に入れなかった生徒など様々な要因を抱えている生徒が在籍している。 燦々ルームに学校支援員とカウンセラーの職員を配置し、メンタル面や学習面でのサポートを開始した。 スポーツコースの新入生の中には、県大会レベル・全国レベルの生徒も在籍している。 「授業にしっかりと参加する」を重点目標に「楽しい授業」「理解される授業」を目標に工夫展開している。 生活の基本である礼節に欠ける生徒も見られ、南陵高校生としての自覚や誇りを持てる指導を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校の生徒、学力的に不振な生徒に対して燦々ルームの活用を促すと共に学校支援員やカウンセラーとの協力もと、補習の充実や積極的な教育相談を図る。 本校指定科目の武道（空手道）の授業や茶道・華道の授業、安全教育、ビジネスマナー教育を通して「社会に即応できる人材の育成」に努めさせる。 生徒理解を深め、南陵高校の職員の一として組織に貢献できる教員を育成するための職員研修会を開催すると共に外部への研修会に参加する。 授業の都度理解度についてアンケートを実施し、生徒の声の把握に努める。 放課後の補習学習を通して基礎学習の徹底と運用状況により、各生徒の習熟度を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中途退学者を出さない徹底した教育活動、生活支援を実践する。 道徳教育を積極的に取り入れ「五徳」を徹底し理解させる。 授業について「興味が湧き、楽しく分かりやすい授業」を心掛け、授業の工夫に努める。 教師自らが生徒の見本になるように教師も自己の向上に努め生徒を大切に育てる。 礼節を重んじ、社会で即戦力になれる人材の育成、南陵高校生としての自覚を持てるように機会ある事に指導をする。 	<p>平成26年度は学費の支払いの問題や家庭の事情により41名の生徒が進路変更をした。道徳教育として論語の授業を取り入れた。授業チャイムを鳴らさず、ノーチャイム運動を行い、時間を見て行動させることができた。放課後の時間を活用し、学習部という形で学びの場を放課後の時間にも提供することができた。頭髮・服装検査を毎月実施し、生徒の社会人としての風貌の改善を図ることができた。また、教職員と生徒で駅と学校付近で挨拶運動を行った。教師が情熱を持って授業展開をし、基礎基本授業の見直しを図った。修学旅行で東北地方に行き、ボランティア活動を通じて、復興支援に貢献した。</p>	C	<p>インターンシップでは講話が多く実施された。講話だけではなく、実体験を取り入れ、より進路意識を高めるものや目的意識・自己設計ができるものを実施したい。また、生徒が目的・目標をより確実なものを構築できるよう進路意識の強化を図り、生徒が進路変更0を目指したい。確かな学力を目指し、各教科指導を研究授業等を多く活用しながら構築させていきたい。授業巡視を多くし、常に生徒も教員も向上の意識を持って、1つの授業に取り組むことを目指したい。</p>
2	開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 保育園や社会福祉施設でのボランティア活動、学校周辺道路のごみ収集活動、地域の祭典への参加を実施している。 学校行事や部の活動報告等をHPのブログにて情報発信している。 教育後援会や学校説明会、学園祭の行事等まだまだ地域への情報発信が遅くなっている。 体育祭・文化祭などの学校行事に地域の方々への参加を積極的に推奨する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自治会の皆様に学校評価委員を依頼し、地域との連携を深め、学校運営ならびに生徒の状況についての協議を行い、改善のための施策を検討しそれを実現させる。 学校周辺の清掃や祭典、挨拶運動の実施など、生徒による地域への奉仕活動の推進を図る。 保護者の声や地域を吸い上げて、改善策を講じ、必ずそれを実現していく。 地域に学校行事開催関係のお知らせを配布・掲示し、学校行事の周知徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校活動の状況をブログで紹介し、積極的な情報発信に努める。 地域の方々積極的に学校に入っていただき率直な意見を述べていただく。 体育施設の解放利用を積極的に推進する。 広域避難場所の指定により、地域の方々の受け入れ体制を確立する。(非常食・飲料水) 	<p>学校ブログや学校新聞である「南陵新聞」を発行することができたが、1回の発行で終わってしまった。必要に応じて家庭訪問を行い、家庭と学校との親密な関係作りを行った。学校生活があった上での部活動構成を徹底した結果、各部活動において、県大会以上の結果が多く出た。献血セミナーや学校全体で献血を募り、社会貢献を行った。様々なボランティア活動を実施・参加し、地域貢献に意欲的に取り組んだ。</p>	B	<p>学校ホームページで中学生や保護者、様々な外部の方が閲覧し、学校行事の活動報告をするとともに、体育祭等の参加を募ることができるとする。また、保護者が生徒の学校生活の様子が日頃より分かるよう構成したい。学校新聞「南陵新聞」を生徒の力で作成していく。強化指定部活動は県大会以上の結果を残していく。</p>
3	生徒募集の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新たに出張オープンスクールを各市で実施し、こちらから出向く募集活動を行っている。 部活動顧問会議を定期的に開催し、各部活動の募集状況を確認する。 教育支援カウンセラー資格の取得に向けて研修を行い、多種多様な生徒の受け入れに対応できる環境づくりに勤めている。 私学だからこそ出来る特色のある教育の樹立と実践。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校案内」をリニューアルし、広報活動の充実を図る。 中学校教員を対象にした授業公開や説明会を昨年度より増加して実施する。 日頃の在校生の活動状況をファイル化データ化し、中学校訪問時に情報提供すると共に南陵高等学校での魅力ある教育活動を伝える。 個人の能力や適性を細かく分析をし、就職から進学まで対応できるシステムを確立する。 応援企業の力を借り、キャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育講演会ならびに体験入学及び学校説明会に創意工夫を図り、来校者を魅了できる会にさせる。 6月には学校案内を作成し、中学校・塾等に配布できる体制を整える。 学則定員160名を満たす。 「私学だからできる教育」を踏まえた新教育課程の編纂を実施する。 学校教育の情報をHPに積極的に掲載し情報発信をする。 	<p>受検者数及び入学者数とともに昨年度と比べると減ってしまった。学校ホームページの学校紹介箇所の更新が追いつかず、実施内容についてパンフレットと異なる箇所を生んでしまった。学校案内はリニューアルしただけでなく、より細かく学校の取り組み等を記載し、中身の充実を図ることができた。不登校生に対して、親身になる教育の実践を行い、スクールカウンセラーの資格講座を全教職員対象に行った。部活動において、強化指定部活動への関心が高まり、スポーツコースを希望する生徒が多くなった。</p>	C	<p>学校ホームページを携帯でも閲覧することができ、保護者や在校生も活用できるよう構成していく。次年度は学校の取り組みや授業の内容を理解して頂いた上で、多くの機関から求められるような学校づくりを行う。学則定員である160名を満たす。学校案内を早期に作成し、配布している機関から準備を整える。コースをより細分化していき、生徒の進路希望に合った学びの場、学習の場を整えるよう環境改善に着手していきたい。</p>